



河合サテライト通信 第36号

2009年 7月27日 全国推定8万人が受講している河合サテライト 学校法人 河合塾

皆さんは夏休みをどうお過ごしですか？先日、私は夏風邪をひきました。ちょうど、大事な会議があったのですが、仕事を休みました。「やっぱり元気なカラダで、職場のみんなと一緒に仕事することが幸福なのだ」と病床から天井を見つめて考えました。皆さんも今の季節は、カラダの具合が悪くなりやすいので、用心してください。「元気で勉強できることこそが、皆さんにとって幸せだ」と思います。さて、高2～3生の皆さんはオープンキャンパスに参加しましたか？あこがれの大学を具体的に見学することによって目的意識が持て、意欲的に学習に取り組めます。夏休みの時間を有効に活用して、しっかり実力をつけましょう！〈編集担当：高瀬 優〉

1. 夏休みは、「オープンキャンパス参加」と「学問分野の研究」をしよう！



冒頭にも書きましたが、今、大学ではオープンキャンパスが真っ盛りです。少しでも受験してみようと思っている大学には、一度出向いてみましょう。特に、推薦入試を受験する皆さんは、オープンキャンパスに積極的に参加しましょう。面接で、参加の有無や体験授業の感想など面接官に問われた時に、参加していないと答えようがないので、話が盛り上がり、後悔が残りますよ。さて、皆さんもご存知かもしれませんが、大学の学部名は非常にバラエティに富んでいます。学問が多彩な要素を含んで、学際的になっているからです。そこで、河合塾グループの52school.comでは、学問分野の中身をよく知ってもらえる情報誌「栄冠めざして SPECIAL 特集号」を無料で送付していますので、是非お申込みいただき、お読みください。「人文科学系学部特集号」・「社会科学系特集号」そして、「理工・情報・生命・環境系学部特集号」の3種類あります。ご希望の節は、ネットに接続しているPC (<http://www.52school.com/>) またはケータイ (<http://52s.jp/>) でアクセスして、「大学情報」→「進学情報誌を請求する」でトライしてみてください。

2. 平成22年度センター試験の変更点について

先日、大学入試センター主催「平成22年度大学入学選抜大学入試センター試験説明協議会」が開催されました。河合塾からも代表が出席し、内容報告がありました。

この項では、平成22年度の主な変更点についてお知らせしますので、参考にしてください。

①英語リスニングについて

- ・リスニング機器が変更になります。今年の機器より、やや正方形の形となるようです。なお、8月下旬頃に、皆さんの高校に、見本のリスニング機器が配布される予定です。
- ・リスニング機器は持ち帰れなくなり、試験後に回収されます。
- ・メモリカード収納方式の都合により、試験中は手で持たないようにしてほしいとのことです。
- ・耳の形状がイヤホンに合わない場合、「イヤホン不適合措置申請」ができます。これは、高校の校長等のサインがある申請書を提出することでOKです。しかし、試験の当日にヘッドホンを申請しても、急な耳のケガでイヤホンでの受験が不能と判断できない限り変更になりません。
- ・生活騒音による再試験は認められません。室内巡回の監督者の靴音・受験者の鼻をかむ音など常識の範囲内で起こった生活騒音による再試験やリスニングの再試験などは認められないことを徹底するそうです。これは受験案内にも明記されます。

②高校の志願票取りまとめ要領に関する措置について

- ・近年、高校からの志願票出し忘れが増加しています。そこで、本人宛に確認ハガキが11月上旬までに送付されますので、受理確認と登録内容の照合確認を徹底してほしいとのことです。
- ・本人の責めに帰さない理由による出し忘れがあった場合(たとえば、高校が提出を忘れた場合)には、11月30日までに大学入試センターに申し出ることをルール化します。

③センター試験の出題などの変更について

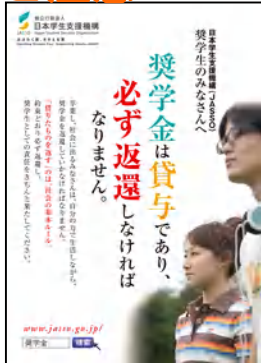
- ・平成22年度より過去のセンター試験問題の素材文等の再利用が解禁になります。何年前までという定めはないので、共通一次を含め過去に出題されたもの全ての再利用があります。
- ・大学側の判断で、過去3年前までのセンター試験の成績の利用が可能になります。

3. 奨学金・教育ローンについて

大学に合格したものの、入学金・授業料以外にも資金が必要になります。そこで、奨学金が必要となるケースも多いと思いますので、本項で、簡単に解説しておきましょう。

(1) 日本学生支援機構 奨学金制度 (大学入学前の予約申し込みの場合)

ご注意!



第一種奨学金

- ①利息 無
- ②成績基準 高校1～3年の申込み時までの学業成績の評定平均値3.5以上
- ③家計基準 ・給与所得世帯916万円程度以内 給与所得以外世帯430万円程度以内
- ④貸与月額 ・国公立大 自宅通学生45,000円 自宅外通学生51,000円
・私立大 自宅通学生54,000円 自宅外通学生64,000円
・国公立、私立関係なく、一律30,000円を選択もできます。

第二種奨学金

- ①利息 年3.0%上限 <2009年6月現在の年利率は1.67%です。>
- ②成績基準 下記のいずれかに該当する者
 - ・高等学校における学業成績が平均水準以上と認められる者
 - ・特定の分野において、特に優れた資質能力があると認められる者
 - ・学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者
- ③家計基準 ・給与所得世帯1,254万円程度以内 給与所得以外世帯719万円程度以内
- ④貸与月額 30,000円 50,000円 80,000円 100,000円 120,000円の5種類
国公立・私立・自宅・自宅外に関わりなく、上記5種類の月額から選択できます。

※家計基準は、4人世帯の収入所得を目安としています。その他詳しいことは、下記のお問合せ先までご相談ください。

お問合せ先 日本学生支援機構 奨学事業相談センター TEL 0570-03-7240 (全国共通)
HPアドレス <http://www.jasso.go.jp/>

(2) 国の教育ローン (日本政策金融公庫)

A. 教育一般貸付 ①利用条件 大学・短大・専修学校等に入学・在学する学生の保護者で世帯の年間収入(所得)が下表の金額以内の者

子どもの人数	給与所得者	事業所得者
1人	790万円	590万円
2人	890万円	680万円
3人	990万円	770万円
4人	1,090万円	860万円
5人	1,190万円	960万円

- ②融資額 学生1人につき300万円以内
- ③返済期間 15年以内(交通遺児家庭・母子家庭については18年以内まで可)
- ④利率 年2.5%(平成21年7月10日現在)
- ⑤取扱窓口 日本政策金融公庫 国民生活事業の各支店および最寄りの銀行・信金等金融機関

*お問い合わせ先は、教育ローンコールセンター TEL 0570-008656

B. 郵貯貸付 ①利用条件 教育積立郵便貯金<新規預入は終了>の預金者で、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構のあつせんを受けた者
収入(所得)に関する制限はないが、利率・返済期間等は教育一般貸付に準じる。
②融資額 学生1人につき200万円以内(ただし、教育積立貯金の現在高の範囲内)
③取扱窓口 ゆうちょ銀行、郵便局(簡易郵便局を除く)

●上記は公的な奨学金・教育ローンです。この他にも民間金融機関では、各種の教育ローンを扱っております。また、各大学独自の奨学金制度や企業が提供する奨学金制度、新聞社の育英奨学生などもあります。利用を希望する皆さんは、早めに資料を取り寄せて、各窓口にご相談してください。

河合出版から -2010マーク式総合問題集-好評発売中です!



通称「黒本」で知られる年度版問題集シリーズ。センター試験対策として定評があり、全統マーク模試・近年実施のセンター試験本試より問題を収録。特に、模試の問題はセンター試験の内容と難易度を分析して作成されていますので、センター対策学習には、最適なアイテムと言えます。

ご購入は、サテライトネットワーク校の先生を通じて、専用通販にてお申し込みください。※Ges 進学学部：10%減価価格で購入できます。

シリーズのラインアップは次のとおりです。 税込定価各980円(但し、地学Iのみ1,000円)

英語(リスニングCD付) 数学I・A 数学II・B 国語
物理I 化学I 生物I 地学I
日本史B 世界史B 地理B 倫理 政治・経済 現代社会

河合サテライト通信第36号 ご愛読ありがとうございました。